

まちの中の福祉

太郎君と花子さんは、まちで気になるものを見つけました。

黄色いデコボコしたブロックがあるけど、何かな。



丸い形と細長い形があるね。



点状ブロック

(注意が必要な場所を示す)



線状ブロック

(移動する方向を示す)



太郎君と花子さんは、お話を聞いてみました。

目の不自由な人が、足元をたしかめながら歩いているよ。



目の不自由な人の手を引いて、道を案内しているのね。



「点字ブロック」って、言うんだね。



ブロックの形で使い分けているのよ。



障害のある人が困らないように、ほかにどんなものがあるかな。



まちには、こんな工夫があります。

【音響信号機】



【障害者用駐車場】



【スロープ】



【車いす専用リフト】



【点字による案内】



でも困ることもあるみたいです。



点字ブロックを自動車やバイクがじゃましているよ。



不便なことも、まだまだたくさんあるみたいね。



調べてみよう

- みなさんも、まちに出て障害のある人にやさしいまちづくりの工夫を見つけてみましょう。
- 見つけた工夫は、福祉マップにまとめると、いいですね。

(七ページも見てみましょう。)

太郎君と花子さんは、階段の所でベビーカーをおしているお母さんに会いました。



小さい子どもを連れてきているお母さんは、たいへんだね。



どうやって、階段をのぼるのかな。

太郎君と花子さんは、お年よりも話を聞いてみました。

最近、ノンステップの路面電車やバスが走るようになって、わたしたちにもやさしいまちになってきているね。



これからも、いろいろな人がくらしやすいまちづくりをしてほしいわ。

【歩道橋にあるエレベーター】



【赤ちゃんにおっぱいをあげたり、おむつをかえたりできる部屋】



【車いすの人や子どもにもボタンが押せる】



エレベーターがあつてよかったね。でも、まだ不慣れなこともありそうね。



最近、小さい子ども連れのお母さんたちにとって、使いやすい工夫がふえてきて、助かるわ。

みんなにとってやさしいまちって、どんなまちだろう。



〈調べてみよう〉

だれもがくらしやすいような工夫について、考えてみましょう。

ユニバーサルデザインってどんなこと？

ユニバーサルデザインとは、すべての人のためのデザインということです。障害者のためにとか、お年よりのためにとかなどではなく、最初から多くの人が利用できるよう工夫されていることです。



おむつ交換専用ベビーシート



障害があっても、なくても、だれでも使えるんだね。

ユニバーサルデザインってどんなものがあるのかな。



みなさんの身のまわりで、さがしてみよう。

- ・シャンプー容器のきざみ
- ・テレホンカードの切れ込み
- ・ノンステップバス
- ・缶ビールの点字
- ・多目的トイレ
- ・電話や電卓のボタンの突起など

みつけたものを、かいてみよう



【高さのちがう手すり】



【低い位置にあるエレベーターボタン】



エレベーターには、車いすを使う人のための押しボタンがあるよ。



【外国人にもわかる案内板】



外国人のために、英語や中国・韓国の言葉で書かれているよ。

バスの中にもいろいろな工夫があるよ。



【車いすをとめることができる、おりたたみシート】



【降車ブザー】

降車ブザーがどこからでも押しやすくなっているね。



【優先席の表示】

列車やバスには「優先席」があったね。



シャンプーにはユニバーサルデザインのものがあるわ。

子どもや障害のある人にも、使いやすい自動販売機があったわ。



【低い位置で選べる自動販売機】



【シャンプー容器のきざみ】



だれもがくらしやすいまちとは

太郎君と花子さんは、みんながくらしやすい工夫をたくさん見つけました。



わたしたちのまちの工夫

わたしたちのまちには、だれもがくらしやすくなるための、さまざまな工夫が見られます。

みなさんもまちに出かけて、どんな工夫があるか調べてみましょう。そして、調べたことをもとに、福祉マップをつくってみましょう。

- どんなものがありましたか。
- どこにありましたか。
- どういう人たちのためのものですか。
- どんな働きやよさがありますか。

〈みんなで考えよう〉

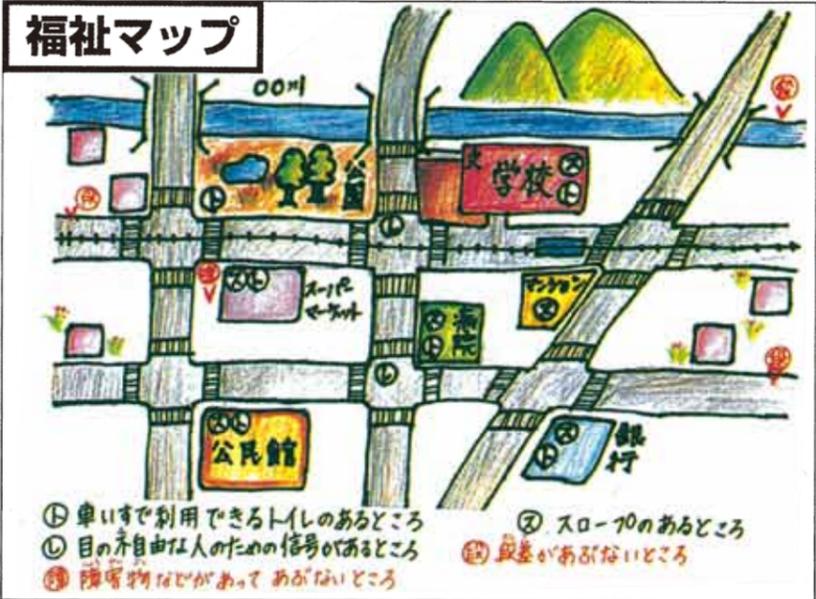
だれもが、同じまちで生活していくために、わたしたちには、どんなことができるでしょうか。

話し合ってみましょう。

ぼくは、こんなところはあぶないな、注意しないといけないなと思うところを調べてみるよ。



わたしは、車いすで買い物ができるお店を調べてみるわ。



わたしたちができることを考えてみよう

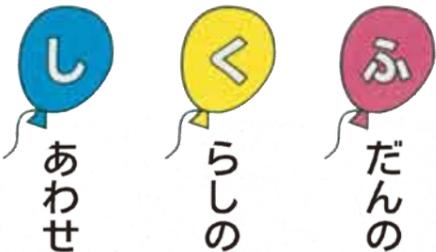
福祉っていうのは、むずかしいことではないんだよ。

だれもが、家族や友だちと、楽しく幸せにくらしたいと願っています。

でも、わたしたちのまわりには、いろいろな事情で、それがむずかしい人たちもいるのです。自分ひとりだけでは幸せになれません。

あなたも、家族や友だち、先生など、たくさんの人に支えられて生きていくでしょう。

「自分にできることは何だろう。」それをさがして、おたがいに支え合って、だれもが幸せにくらせる社会をつくること。それを「福祉」というので



わたしたちもやってみよう「こころのユニバーサルデザイン」

あなたは、だれもがくらしやすくなるために、何をすればいいと思いますか。より多くの人ができるようになる工夫を考えるためにも、たくさんの人と交流し、困りごとに気づいていけると良いですね。

そして、困っている人を見かけたら、勇気をもって声をかけたり、自分でできないことは、近くの人に声をかけ、いっしょにかかわったりしていきましょう。

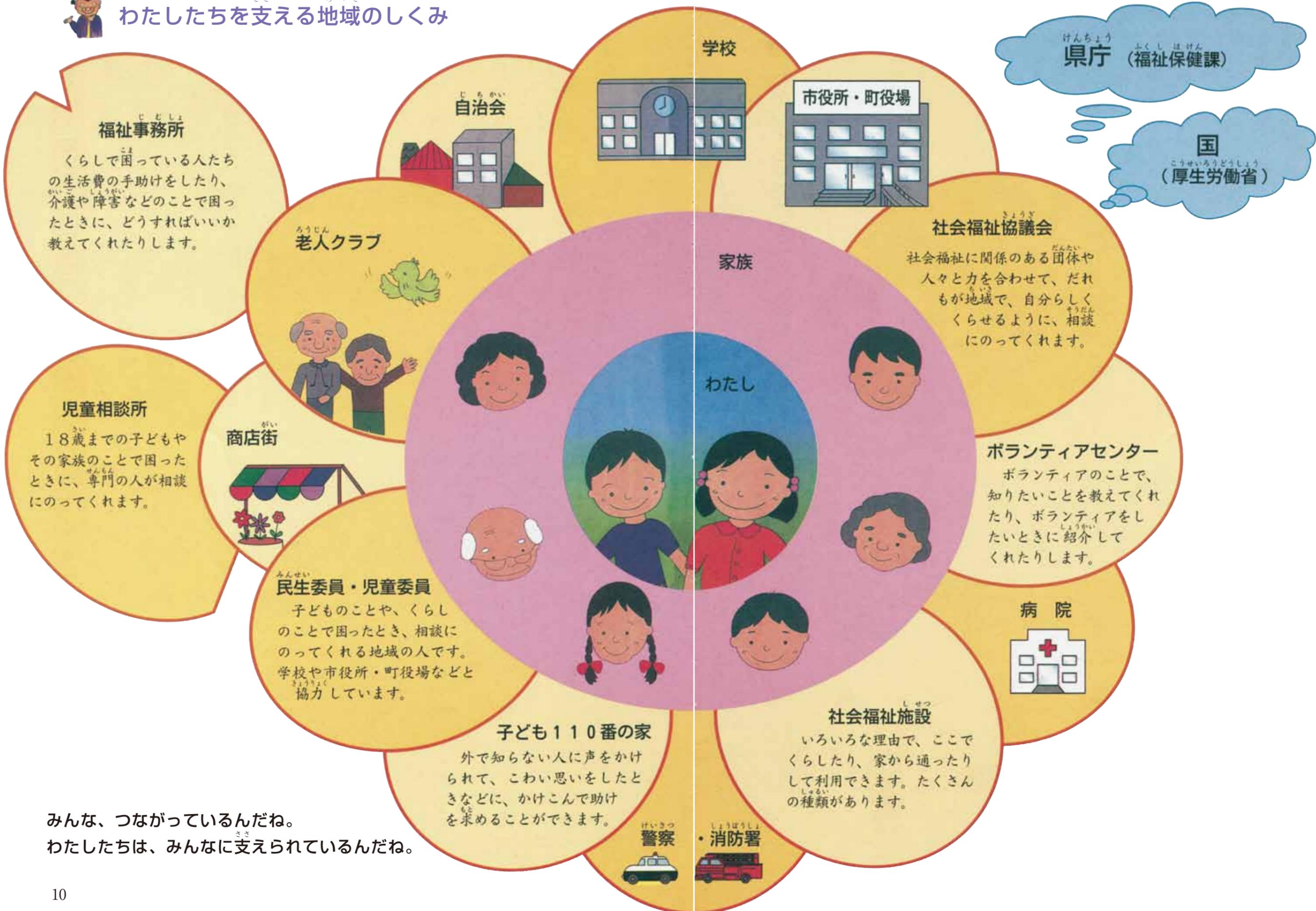
一人一人の思いやりのこころや気持ち、くらしやすいまちをつくりまします。

みんなで協力して、よりよいまちづくりを進めているんだね。





わたしたちを支える地域のしくみ



けんちょう 県庁 (福祉保健課)

くに 国 (厚生労働省)

みんな、つながっているんだね。
わたしたちは、みんなに支えられているんだね。